

防災だより

消防本部防災対策課 電話：72-0131

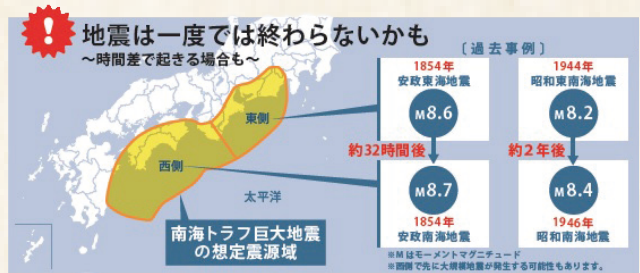


[第30号]

南海トラフ地震とは

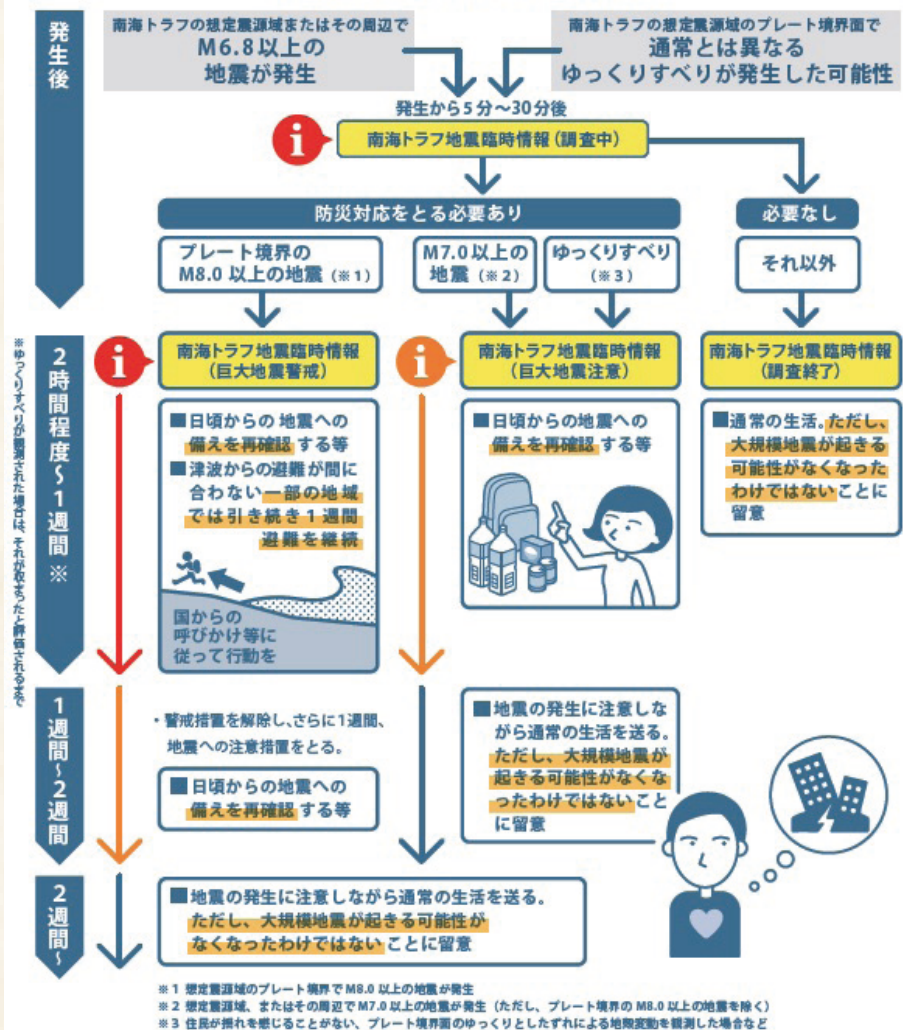
南海トラフ地震は、駿河湾から日向灘沖にかけてのプレート境界とする大規模地震です。過去に大きな被害をもたらし、100年～150年の間隔で繰り返し発生しています。前回の地震発生（1946年）から約80年が経過し、今後30年以内に70～80%の確率で発生すると想定されています。

南海トラフ沿いでは、東海地震・東南海地震と時間差で巨大地震が発生した事例が知られています。今後も同様の事象が発生する可能性があるため、南海トラフ沿いで一度地震が発生した場合には注意が必要です。



南海トラフ地震臨時情報が発表されたら

地震発生後の防災対応の流れ



令和6年8月8日の16時43分頃、日向灘での地震が発生したことに伴い、初めて『南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）』が発表されました。その後、特段の変化を示すような地震活動や地殻変動は観測されなかったため、国の特別な注意の呼びかけは1週間で終了しました。

しかし、大規模地震の発生可能性がなくなったわけではありません。情報が発表された際に、慌てず行動するためには、「日頃からの地震への備え」が大切です。

南海トラフ地震臨時情報が発表されたら、日頃からの備えを再確認しちゃんない



愛南町ホームページ



出典：内閣府・気象庁作成リーフレット「南海トラフ地震 -その時の備え-」より